

イーストスプリング・  
インド公益インフラ  
債券ファンド  
(毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

作成対象期間 2025年7月11日～2026年1月13日

(毎月決算型)

第125期 2025年8月12日決算 第128期 2025年11月10日決算  
第126期 2025年9月10日決算 第129期 2025年12月10日決算  
第127期 2025年10月10日決算 第130期 2026年1月13日決算

(年2回決算型)

第22期 2026年1月13日決算

(毎月決算型)

日経新聞掲載名：インド公益債

第130期末(2026年1月13日)	
基準価額	9,034円
純資産総額	38,516百万円
第125期～第130期	
騰落率	4.9%
分配金(税込み)合計	270円

(年2回決算型)

日経新聞掲載名：インド公益2

第22期末(2026年1月13日)	
基準価額	16,931円
純資産総額	17,330百万円
第22期	
騰落率	4.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

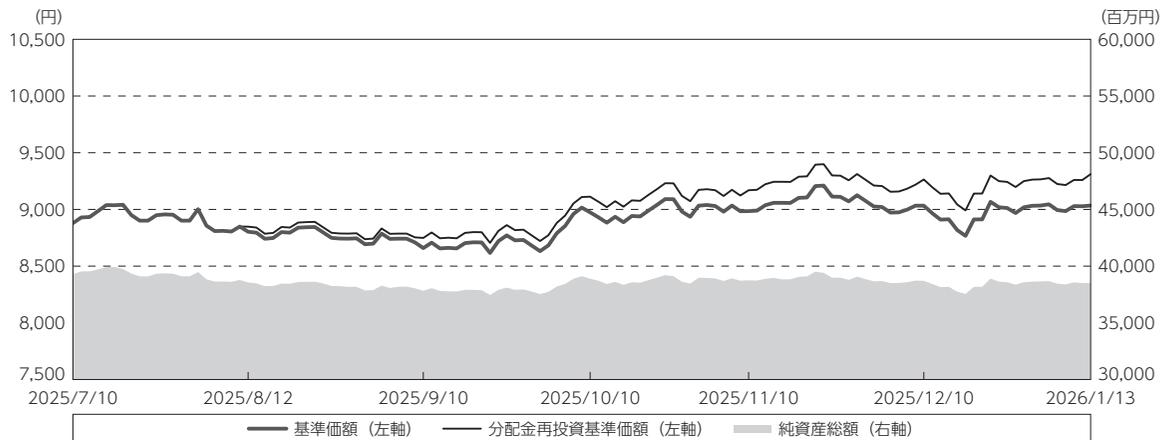
ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

## 運用経過

(毎月決算型)

### 基準価額等の推移について

(2025年7月11日～2026年1月13日)



第125期首：8,879円

第130期末：9,034円 (既払分配金(税込み)：270円)

騰落率：4.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2025年7月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・保有している債券の価格上昇。
- ・インドルピーの対円での上昇。

# 1万口当たりの費用明細

(2025年7月11日～2026年1月13日)

項 目	第125期～第130期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	77	0.868	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(38)	(0.423)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(38)	(0.423)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.023)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.020	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.013)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.001)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 )	( 0 )	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
( そ の 他 1 )	( 0 )	(0.004)	信託管理事務に係る手数料およびインボイスの税務代理人に対する手数料等
合 計	79	0.888	
作成期間の平均基準価額は、8,929円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

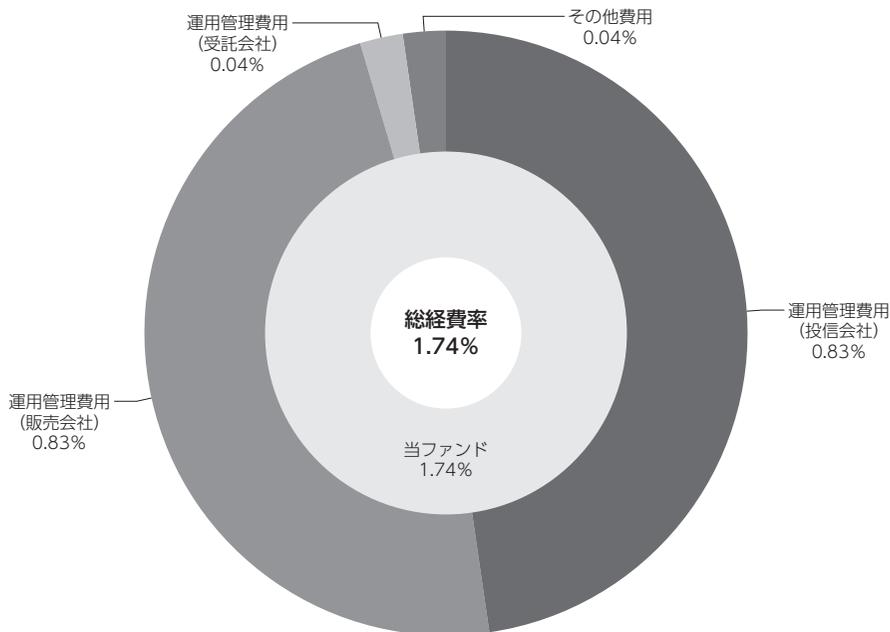
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

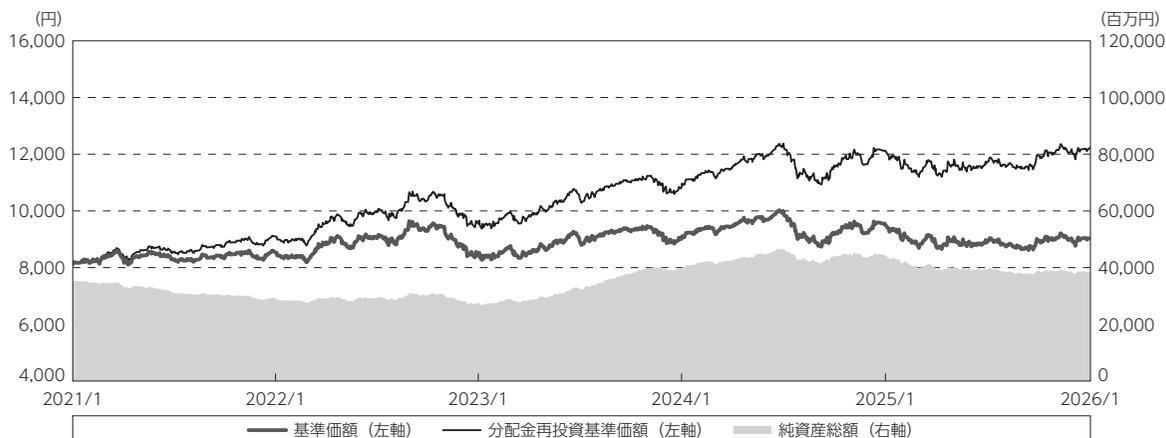
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年1月12日～2026年1月13日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2021年1月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年1月12日 決算日	2022年1月11日 決算日	2023年1月10日 決算日	2024年1月10日 決算日	2025年1月10日 決算日	2026年1月13日 決算日
基準価額 (円)	8,187	8,531	8,420	9,016	9,506	9,034
期間分配金合計(税込み) (円)	—	540	540	540	540	540
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.1	4.9	13.7	11.7	1.0
純資産総額 (百万円)	35,353	29,161	27,190	39,765	44,191	38,516

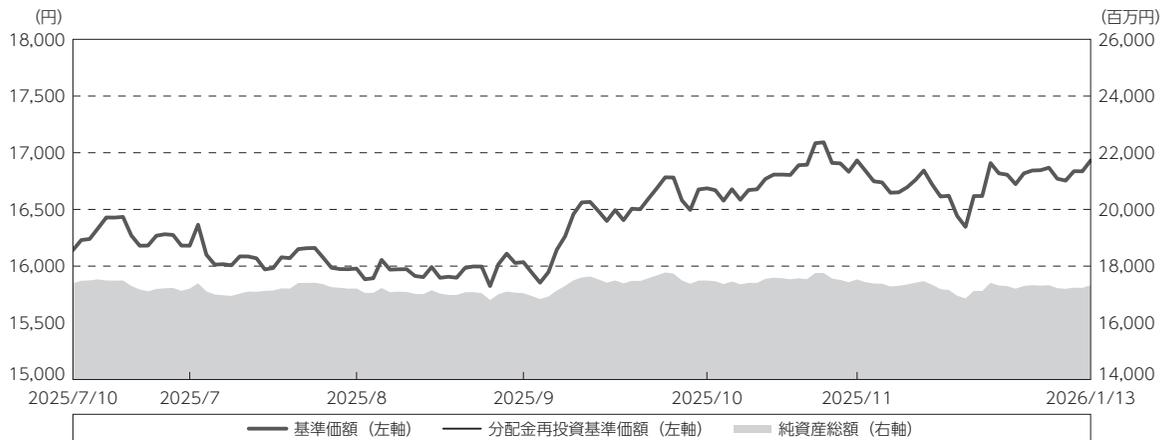
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 運用経過

(年2回決算型)

### 基準価額等の推移について

(2025年7月11日～2026年1月13日)



期首：16,141円

期末：16,931円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 4.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年7月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・保有している債券の価格上昇。
- ・インドルピーの対円での上昇。

## 1 万口当たりの費用明細

(2025年7月11日～2026年1月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	143	0.868	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 69)	(0.423)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 69)	(0.423)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 4)	(0.023)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.023	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2)	(0.013)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 )	( 1)	(0.004)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
( そ の 他 1 )	( 1)	(0.004)	信託管理事務に係る手数料およびインボイスの税務代理人に対する手数料等
合 計	147	0.891	
期中の平均基準価額は、16,442円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

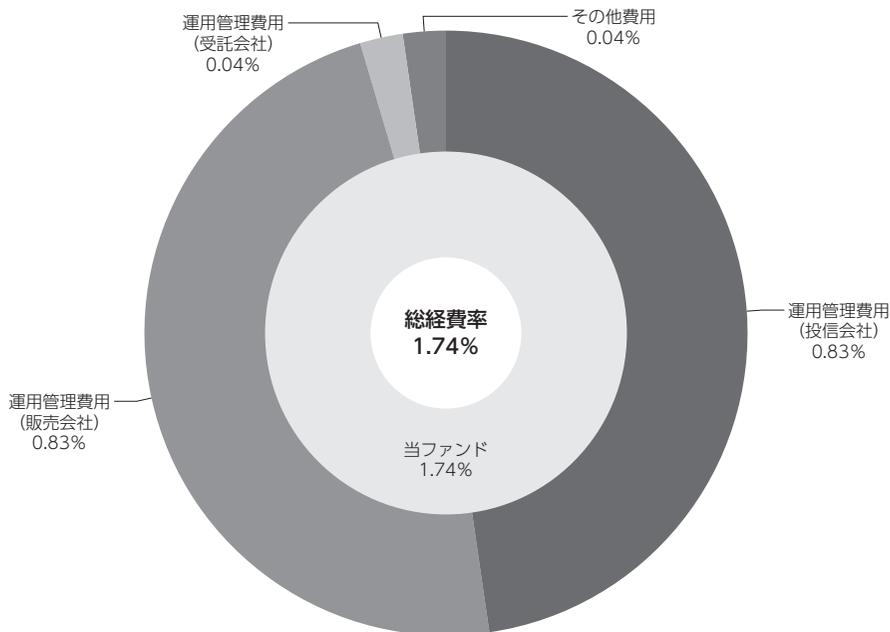
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年1月12日～2026年1月13日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2021年1月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年1月12日 決算日	2022年1月11日 決算日	2023年1月10日 決算日	2024年1月10日 決算日	2025年1月10日 決算日	2026年1月13日 決算日
基準価額 (円)	11,303	12,568	13,179	14,996	16,760	16,931
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.2	4.9	13.8	11.8	1.0
純資産総額 (百万円)	11,505	9,823	9,155	15,055	19,163	17,330

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

---

### インド債券市場

インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

インド準備銀行（RBI、中央銀行）が2025年6月の金融政策決定会合で政策金利を市場予想よりも大幅に引き下げるとともに、金融政策スタンスを「緩和的」から「中立」に変更したことによって、更なる利下げ余地は限定的と市場参加者に受け止められ、当（作成）期首からインド国債利回りは上昇基調となりました。8月には米国による対インド関税（最大50%）の発動や、GST（物品・サービス税）減税案による財政赤字拡大への懸念が背景となり、インド国債利回りは大きく上昇しました。10月以降はインドのインフレ率が減速し、RBIは12月の会合で政策金利を0.25%引き下げましたが、インド国債利回りは横ばい圏で推移しました。社債の対国債スプレッドは小幅に縮小しました。

### 為替市場

インドルピーは対円で上昇しました。

インドルピーは、当（作成）期を通じて対米ドルで下落しました。米国との貿易交渉の合意期限が当初よりも後ろ倒しとなったことが市場の懸念を高め、インドルピーは当（作成）期末にかけて対米ドルで最安値を更新し続けました。米ドル円相場では、円安基調となりました。日銀は2025年11月までトランプ関税の経済への影響や日本国内の賃金・物価動向を慎重に見極める姿勢を示し利上げを先送りしました。その一方、米連邦準備制度理事会（FRB）は9月以降、複数回の利下げを実施しました。しかし、日本政府による積極的な財政運営に対する財政悪化懸念などから長期金利が上昇し、円は対米ドルで下落基調をたどりました。当（作成）期を通してみると、インドルピーは対円では上昇しました。

## ポートフォリオについて

---

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当（作成）期は、利回り上昇局面で、残存期間が短い政府機関債や社債を残存期間がより長い政府機関債や社債に入れ替え、デュレーションを長期化しました。また、国債の保有比率を戦術的に調整しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

#### (毎月決算型)

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
	2025年7月11日～ 2025年8月12日	2025年8月13日～ 2025年9月10日	2025年9月11日～ 2025年10月10日	2025年10月11日～ 2025年11月10日	2025年11月11日～ 2025年12月10日	2025年12月11日～ 2026年1月13日
当期分配金	45	45	45	45	45	45
(対基準価額比率)	0.509%	0.517%	0.499%	0.498%	0.496%	0.496%
当期の収益	37	30	45	39	41	42
当期の収益以外	7	14	—	5	3	2
翌期繰越分配対象額	1,633	1,618	1,620	1,615	1,612	1,610

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) ー印は該当がないことを示しています。

#### (年2回決算型)

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第22期
	2025年7月11日～ 2026年1月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,946

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) ー印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

RBIは2025年12月の金融政策決定会合において、全会一致で政策金利の引き下げを決定するとともに、公開市場操作（OMO）による国債購入や通貨スワップなどの大規模な流動性供給策を発表しました。これらの措置は銀行システムを安定させ、金利の低下要因として作用することが考えられます。また、インド国債がブルームバーグの債券指数（Bloomberg Global Aggregate Index）に組み入れられることが期待されており、短期的な資金流入を通して国債利回りの低下が見込まれます。これらを背景に、10年物や15年物の国債の買い増しにより、戦術的にデュレーションを長期化することを検討しています。引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選定により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

## お知らせ

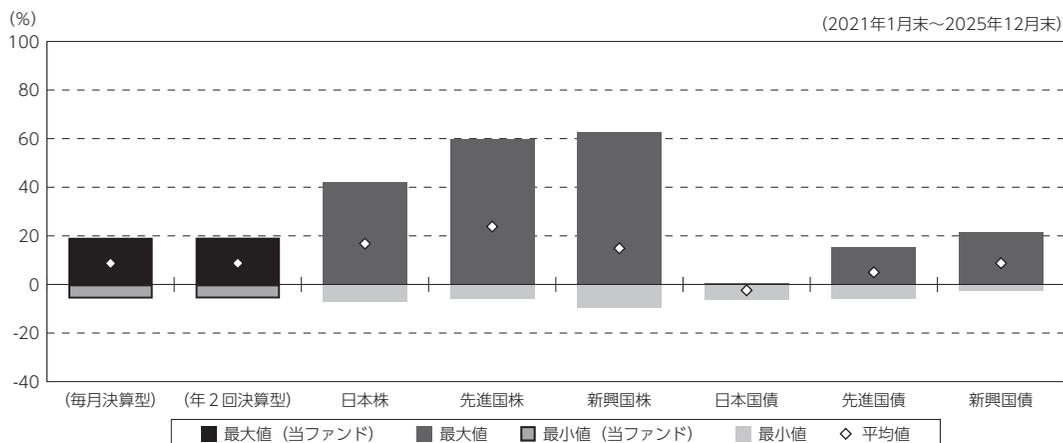
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 無期限 (2015年2月10日設定) (年2回決算型) 無期限 (2015年4月10日設定)	
運用方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券(以下「公益インフラ債券」)に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型) 原則として、毎年1月10日および7月10日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	(毎月決算型)	(年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.2	19.3	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 5.8	△ 5.8	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.3	△ 6.1	△ 2.7
平均値	8.7	8.7	16.8	23.8	14.9	△ 2.4	5.0	8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年1月から2025年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## ファンドデータ

(毎月決算型)

### 当ファンドの組入資産の内容

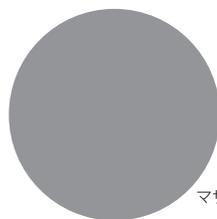
#### ○組入上位ファンド

銘 柄 名	第130期末
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	100.7%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

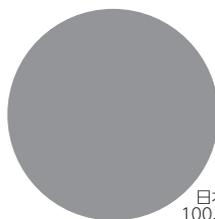
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

#### ○資産別配分



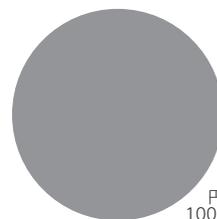
マザーファンド  
100.7%

#### ○国別配分



日本  
100.7%

#### ○通貨別配分



円  
100.7%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

### 純資産等

項 目	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末
	2025年8月12日	2025年9月10日	2025年10月10日	2025年11月10日	2025年12月10日	2026年1月13日
純資産総額	38,561,394,639円	37,825,182,791円	38,892,052,207円	38,746,139,078円	38,700,509,771円	38,516,732,137円
受益権総口数	43,802,624,726口	43,684,272,157口	43,340,060,398口	43,121,612,653口	42,845,795,213口	42,634,912,522口
1万口当たり基準価額	8,803円	8,659円	8,974円	8,985円	9,033円	9,034円

(注) 当作成期間(第125期~第130期)中における追加設定元本額は2,722,665,799円、同解約元本額は4,328,821,050円です。

## ファンドデータ

(年2回決算型)

### 当ファンドの組入資産の内容

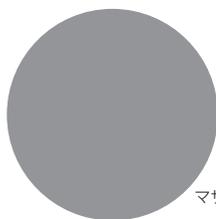
#### ○組入上位ファンド

銘 柄 名	第22期末
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	100.9 %
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

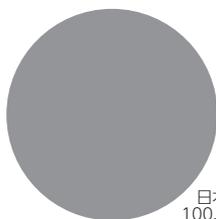
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

#### ○資産別配分



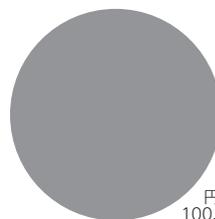
マザーファンド  
100.9%

#### ○国別配分



日本  
100.9%

#### ○通貨別配分



円  
100.9%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

### 純資産等

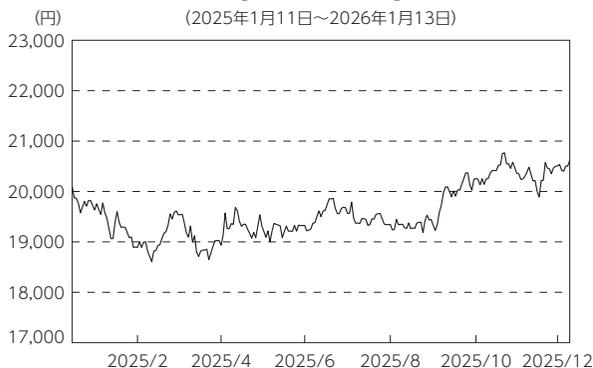
項 目	第22期末
	2026年1月13日
純資産総額	17,330,201,155円
受益権総口数	10,235,632,931口
1万口当たり基準価額	16,931円

(注) 当期中における追加設定元本額は894,489,465円、同解約元本額は1,433,736,104円です。

## 組入上位ファンドの概要

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万口当たりの費用明細】

(2025年1月11日～2026年1月13日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	7	0.038
( 保 管 費 用 )	(6)	(0.030)
( そ の 他 1 )	(1)	(0.007)
( そ の 他 2 )	(0)	(0.000)
合 計	7	0.038

期中の平均基準価額は、19,603円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

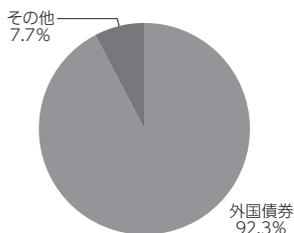
#### 【組入上位10銘柄】

(2026年1月13日現在)

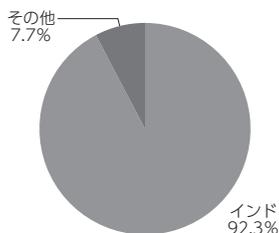
銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
1 インド国債 7.09% 2054/8/5	国債	インドルピー	インド	7.6%
2 全国農業農村開発銀行 7.8% 2027/3/15	特殊債	インドルピー	インド	4.8%
3 インド国債 7.34% 2064/4/22	国債	インドルピー	インド	4.7%
4 HDFC銀行 7.8% 2033/5/3	社債	インドルピー	インド	3.9%
5 インド国債 6.68% 2040/7/7	国債	インドルピー	インド	3.8%
6 LICハウジングファイナンス 7.61% 2034/8/29	社債	インドルピー	インド	3.6%
7 チョラマンダラムI&F 9.05% 2032/3/6	社債	インドルピー	インド	3.2%
8 シュリラム・ファイナンス 8.75% 2026/10/3	社債	インドルピー	インド	3.2%
9 JMファイナンシャル・プロダクツ 8.92% 2026/11/16	社債	インドルピー	インド	3.2%
10 DLFサイバーシティ・デベロッパーズ 6.92% 2028/7/28	社債	インドルピー	インド	3.1%
組入銘柄数	53銘柄			

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

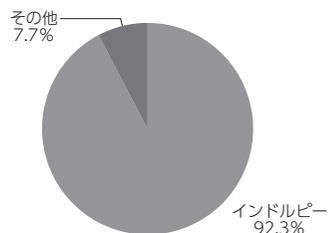
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。  
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

### ○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。